

SHORIN

商輪
No.39

SAPPORO CHAMBER OF COMMERCE AND
INDUSTRY WOMEN'S SOCIETY

2019



▼ 目次

二〇一九年度を迎えるにあたって	01
札幌商工会議所女性会 会長 八木千代子	01
【特集】北海道命名百五十年	02
「北海道神宮 宮司 吉田 源彦氏」・「女性会会長」対談	02
平成三十年度 定時総会・懇親会	06
全国商工会議所女性連合会	07
創立五十周年記念式典・第五十回岩手総会	07
第三十二回 全道商工会議所女性会研修会（旭川）	08
平成三十一年 新年交礼会	09
平成三十年度 道央ブロック商工会議所女性会研修会	10
辛坊治郎氏 特別講演会	11
平成三十年度例会	12
七月例会	12
納涼例会	13
二月例会	14
会員寄稿	15
一、感謝を伝えたいこと	15
二、平成最後の年に添えて	19
平成三十年度 新入会員セレモニー	24
新入会員紹介	25
組織図／業種別・在籍年数別人員構成	26
物故会員を偲ぶ・札幌商工会議所女性会 役員体制	27
札幌商工会議所女性会 会員名簿	28
札幌商工会議所女性会 スローガン	30
平成三十年度 年間スケジュール	31
編集後記	32

二〇一九年度を迎えるにあたって



札幌商工会議所女性会

会長 八木 千代子

新年度を迎え、会員の皆様におかれましては、日々お健やかに過ごしのことと存じます。

また、日頃より当会の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年度は、私自身、二期目の会長職を仰せつかり、新体制のもと副会長、部会長を中心とした活発な部会運営と会員皆様のご協力により、無事に予定の事業を終えることが出来ましたことに、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、日本全国で台風や地震等の自然災害に見舞われた一年でありました。

その中でも、昨年九月に発生した胆振東部地震では、北海道全域がブラックアウトになるという初めての経験を致しました。

多くの企業が営業停止を余儀なくされ、観光客が一時的に減少するなど、北海道経済に大きな打撃を与えました。

その様な中、全国各地の女性会皆様からのお気遣いや励ましのお言葉を頂戴し、大変勇気づけられたと共に、女性会ネットワークの絆を再認識した次第でございます。被災された地域の日も早い復興を願うと共に、全国各地の女性会と手を携え、支え合いながら真心

を込めた支援をして参りたいと存じております。

当会の事業においては、アナウンサー・キャスターとしてご活躍の辛坊治郎氏をお招きし、道内女性会会員を含めた約七〇〇名のご来場を頂き、政治経済の情勢や報道の裏側などについてご講演頂きました。

また、旭川市で開催された全道大会、石狩市で開催された道央ブロック商工会議所女性会研修会には、多くの会員の皆様にご参加頂き、各地女性会会員との親睦・交流を深めました。

今年度は、九月に鹿児島での全

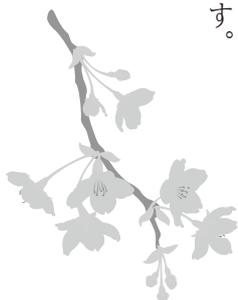
国大会、小樽での全道大会が予定されており、全国・全道各地の女性会の皆様にお会い出来ることを当女性会会員一同、大変嬉しく心待ちにしております。

いよいよ四月末をもって激動の平成の時代が終わり、五月より新元号「令和」という新たな時代が幕を開けます。

私たち札幌女性会と致しましては、時代が変わっても、長い歴史の中で諸先輩が築いて来られた品格を守り、新しい時代に求められる経営感覚や社会貢献のあり方を学べる組織にして参りたいと存じます。

そのためにも、より一層、会員相互の連携・協力を密にし、切磋琢磨しながら、様々な活動に取組んで参ります。

最後になりますが、今年一年が会員皆様にとって幸多き年となりますことをご祈念申し上げますと共に、変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、新年度のご挨拶とさせていただきます。



北海道命名150年

「北海道神宮 宮司 吉田 源彦氏」・「女性会会長」
対談



その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.



◆参加者
北海道神宮

宮司

吉田 源彦氏

禰宜

角田 秀明氏

札幌商工会議所女性会

会長

八木 千代子

「広報部会」

副会長

成田 得見子

部会長

塚原 孝子

副部会長

八田 利枝子

副部会長

堀田 まり

〈会長〉北海道命名百五十年を迎えました。北海道には、どんな方々がどんな志をもって開拓に入られたのでしょうか。

〈宮司〉北海道も当然そうですがこの札幌の街というのは特に、佐賀県の方々が大変力を入れて開発をしてくださいました。当時明治二年の九月一日に明治天皇様より

「北海道開拓にあたって本州各地から北海道に渡る人たちがたくさんいらっしやるので、その方々の心の安寧を祈るために神々を祀れ」という詔が下されました。そして全国各地から入ってくる入植者に先立ちまして明治政府は「北海道開拓使」という役所を作ったのであります。この役所の初代長

官が鍋島直正（なべしまなおまさ）公という佐賀藩藩主、第十代の鍋島藩主であります。この方の下で藩士の島義勇（しまよしたけ）という方がおいでになりました。この方は北海道神宮の境内にも、札幌市役所のロビーにも銅像がございます。

この方が札幌に入ってくるわけですね。

〈会長〉原野を目の前にされて、どんな苦労を乗り越えなければならぬのか、きつと想像もつかなかったことと思います。

〈宮司〉島義勇ら一行約二百人が函館まで来ました。函館というのは当時北海道では大都会でありまして、対して石狩の札幌は原野の状態でありました。二代目の東久世通禧（ひがしくぜみちとみ）長官と判官島義勇公は、明治天皇様からお預かりした神々、大國魂神（おおくにたまのかみ）、大那牟遲神（おおなむぢのかみ）、少彦名神（すくなひこなのかみ）、この三柱の神々を神祇官から授かり、背中に三柱の御霊代（みたましろ）を背負って石狩まで入ってくるわけでございます。当時は海路の方が天気さえよければ便利ですから函館が開け、小樽が開け、宗谷が開け釧路、根室と海岸線の方が開拓は早いわけです。対して陸地は不



■北海道神宮 宮司 吉田 源彦氏

便でありまして、十二月に島義勇一行は寒さに凍えながら石狩に入ってくるわけでありまして。島義勇が滞在したのは十二月から翌年二月までと、短い期間ではありましたが、藁長靴を履き、その下にアイヌの方々が鮭の皮で作った足袋の様なものを履いて、雪の中を漕いで、京都の朱雀大路を中心とした基盤の目の様な街づくりを頭に描いて凶面を残していったそうです。

そして島義勇は札幌の原野を眺め「この石狩の地こそは四通八達北海道内どこをとってもこの場所が最高の場所になる」というような漢詩を遺しておりますが、その実現のために必要な開拓事業の資金の調達に奔走するのです。

〈会長〉政府はすんなりとお金を出したのでしょうか。きつと随分と苦労されたのでしょうかね。

〈宮司〉当時、ロシアには北海道を占領、支配していきたいとの思惑があり、そのような南下政策をとっておりまして。それを同じ開拓使の判官として務める松浦武四郎、この方は幕末に数回北海道をはじめ樺太など探検されており、ロシアの南下政策というものを見聞きしておりました。そこでそういった危険を島義勇にも伝えていきました。この様に松浦武四郎は、東京から島義勇にアドバイスをする先輩的な立場にありました。北海道、札幌での現地勤務こそありませんでしたが、北海道命名にいたる六案を明治政府に提出したことでクローズアップされているのではないかと考えられます。しかし、政府にも余裕はなく、資金調達がうまくいかず、島義勇は東京に召還されます。その時「他日、



■女性会会長 八木 千代子

五州第一の都。後世においては必ずや世界でも稀な大都会になるであらう」と原野を見ながら百年二百年も先のことを漢詩に残して去るわけでありまして。その後「佐賀の役」で島義勇は日本の刑の中でこれが最後だった斬首の刑により亡くなったと言われていますが、島義勇が粉骨砕身したという背景もあり、彼の尽力により現在の発展をみ、開拓事業の功績を称え、昭和四十九年に島義勇の銅像が建立されまして、島義勇の命日でありまして四月十三日には慰霊顕彰祭を斎行しているのであります。

〈会長〉本当に大都会になりました。何もないとところから、後世に思いを馳せてこの礎を築いた力はとても大きいですね。

〈宮司〉当時のそういった開拓に尽力された方々は、寝る場所もなく、暖房らしきものもなく、掘って立て小屋に熊笹で屋根を葺いて、その中心に穴を掘って薪や枯れ木を燃やして暖をとって、それでもまだ寒いということ、犬を抱いて寝ていました。そんな風にして何とか頑張っていくのですが、島義勇が東京に戻され、島義勇に代わって函館から赴任した島義勇とは不仲の関係であった東久世通禧長官は、島義勇が描いた構想が雄大で将来性のある構想が出来ている



事を確認し、今度はその東久世通禧公も島義勇の構想の通りに街づくりを繋いで、続けていくんですね。これは私どもにしてみれば感動するぐらいに当時の方々は立派に開拓事業を務め、繋いで、進めていきました。そして東久世通禧公は自身が東京に戻るときも次の長官に凶面を託して街づくりを続けていってこれと繋いでいくわけです。

島義勇という方は二百年三百年先を見据えて北海道の札幌を墾り開いてくださったわけでありまして。



〈会長〉 開拓には本当に多くの方々の尽力と、命をかけた思いがあったのです。その方々を私達北海道民はどのように敬ってきたのでしょうか。

〈宮司〉 その土地その土地で、どう皆が根付いていくかは、苦勞に苦勞を重ねてきた方々がいます。例えば十勝には、静岡県伊豆松崎の出身の依田勉三が畑作に一生懸命取り組み、自然との闘いの中で

品種改良を考えるなど力を注ぎ、豆の栽培等の畑作を広げてゆきました。今では、この豆が主となり、農産物の大国に並ぶ地域となっております。

〈会長〉 そうですね。今、北海道の豆は、小豆も大豆も全国で引く手あまた、開拓者の先見の明、ご尽力の賜ですね。

〈宮司〉 先例といたしまして昭和十三年に北海道開道七十年という年だったんですけれども当時の長官が全道から功績者の名前を募集して叙勲やら官位を受けた人が残っていきまして三十六人を定められました。そして当時北海道の歴史を編纂した大学教授などにも携わっていたらいて札幌神社の境内に開拓神社という末社を作りこの三十六人をご祭神として祀るということが北大の教授や専門家を招いて決められ、明治政府の太政官布告により八月十五日に蝦夷地を北海道と改称した日に因んで例祭とし、毎年奉仕をしているわけでございます。

〈会長〉 北海道の本当の命名日ですね。

〈宮司〉 そのような中で十勝では管内をあげて依田勉三をぜひ開拓神社のご祭神に加えていただけなのか、三十六柱に一柱を御増祀して神様としてお迎えしていただ

ないかという陳情が戦後ありまして、札幌神社では責任役員会を開いて要望を審議し、増祀が決まり三十七柱の功勞者をお祀りしているのが今日の末社となります。開拓神社のご祭神でございます。北海道は命名されて百五十年という節目を迎えましたが、たった百五十年とはいえ当時の方々の苦勞というものをほとんどの方がわからないうもののが現状であります。私たち毎年三十七柱の神をお祀りした神輿の渡御もございまして子供のお神輿も併せて巡行します。

〈会長〉 開拓神社の神輿渡御は毎回盛大になっていく様に感じます。

〈宮司〉 やはり自分の国元親元を離れ難破する船もたくさんある中、命からがらこの原野に入って開拓にご尽力され、北海道を墾り開いてくださった先人達の苦勞のことをもっと我々一人一人が考えなければなりません。島義勇が漢詩に残したほどの神宮の境内の場所ですが、明治天皇様の大御心により北の大地が開拓されてきたということ、昭和の十一年頃から明治天皇様を当時の札幌神社にお祀りさせていたいただきたいという道民の氣運が上がりまして、戦後二十九年頃昭和天皇様の行幸の際にまた明治天皇様のご増祀の運動が再びおこるんであります。

〈会長〉 その願いや動きは、ご皇室には届いたのでしょか。

〈宮司〉 道民の切なる願い、祈りを受ける過程で昭和天皇様のお耳に達することが出来まして「北海道民の方々が、自分の祖父である明治天皇様を札幌の神社に迎えたという旨、なんとかしてあげられないだろうか」とお考えください、「北海道の札幌神社に明治天皇様をお祀りされたらどうか」と詔が出まして、昭和三十九年の十月五日にこちらに御増祀のお祀りが齎行されたということで、今日では開拓三神と明治天皇様を合わせ四柱の神々をお祀りさせていただいているわけでありまして。

私達が毎年賑やかにお祭りをご奉仕出来るのも開拓に尽力された先人達の御陰なんです。その結果が、今日の我々の生活を支えてくださっているという風に思います。と、本当に当時の方々はこんな仕事いやだとか苦しいからやめるとか、そんなことを仰らず、この苦しみや苦勞を子や孫にだけはさせたくないという一心で一生懸命に開拓に尽力下さったんだと思えますし、そうした中、我々はこれからの時代にどのようにして伝えていくかということが非常に大事なわけでございます。北海道という近代の新しい土地での恩恵を受け

ている者全員、先人達の想いを繋いで受け継いでゆくことも使命であるかと思えます。

〈会長〉今年八月、天皇陛下皇后陛下が来道されましたが、その時のお言葉やエピソードなど、最後にお聞かせ頂けましたら幸いです。

〈宮司〉直接お目にかかるということはありませんがお泊り所へ伺い、侍従長から、陛下が仰せになられましたお言葉を申されて、幣饌料をお供え賜りました。北海道神宮では敬神婦人会の方々のご参列のもと、幣饌料奉獻奉告祭を齎行させて頂いたで、ありがたいたとでございました。陛下のお言葉は、一言一言が国民の側に立たれたものであり、北海道の総鎮守として全道民を守って下さいという



北海道神宮 禰宜 角田 秀明氏

ことでもございました。

〈会長〉九月の北海道胆振東部地震の時には北海道内の神社でも被害にあわれ、未だ修復が叶わない神社もあるかと思えますがどんな想いでいらっしゃるのでしょうか。

〈宮司〉私は北海道神社庁長のお役目を頂いており被害にあったお宮を視察する立場にあります。地震での道路の寸断等があり、すぐには行くことが叶いませんでした。お宮を元の形に戻すには一社で億単位の資金が必要であり、一般の建物の三倍の時間がかかると言われています。被災神社の宮司・責任役員・総代・氏子さん達は、被災者でもあり、神社再建はもとより日常生活にも支障をきたす程でもあります。現在神社界では、神社再建のために、いくらかずつでも補助しようと動き、全道から募財を募っています。

先日の震災の時にも、停電になり電気が消えて真っ暗になった境内で拍手を打つ音が聞こえてきて、暗闇の中、目をこらして見ると神門前にうごめく人影があり、お参りをされている方を確認しました。自分自身も大変な時に懐中電灯を頼りにお祈りにいらっしゃる方のお姿を見て、北海道神宮は北海道民の心の支えになっているのだと

実感し、厳粛かつ叱正を受けたような思いをしました。陛下のお言葉を改めてかみしめております。

〈会長〉この度は私どもの為に、度重なる出張など大変お忙しい日々をお過ごしのところ、貴重なお時間を頂戴いたしました心より感謝申し上げます。

長年にわたり、多くの先人の方々の並々ならぬお力のおかげで今の北海道があるという事を、改めて知ることができました。

私達も後に続く人のために、微力でも何か力を合わせて行かなければならないと気付かせて頂きました。

この度は、かけがえのないお話をありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

《プロフィール》

北海道神宮

宮司 吉田源彦氏

昭和十七年北海道生まれ。同四十年國學院大学卒業、神奈川県寒川神社奉職、禰宜（ねぎ）を経て昭和五十八年北海道神宮禰宜・権宮司を経て平成十九年第二十二代宮司就任。北海道神社庁長、神社本庁理事・参与。國學院大学、皇学館大学協議員。日本ボイスカウト北海道連盟長。



平成30年度 定時総会・懇親会

2018年4月24日(火)

総務部会 吉中 朋子



平成三十年四月二四日、札幌パークホテルに於いて、女性会員五十三名の出席のもと定時総会・懇親会が行われました。

開会にあたり八木会長より挨拶がありました。

ご来賓の方々

札幌商工会議所

専務理事 廣田 恭一様

札幌商工会議所

常務理事・事務局長 水落隆志様

札幌商工会議所 青年部

会長 竹原 慎雅様

北海道商工会議所連合会

総括調査役 安宅 順子様

の四名の方々にご臨席を賜りました。

ご来賓の皆様を代表して、廣田専務理事のご挨拶を頂きました後、会員褒章に移りました。昨年一年を通じ女性会の事業へ八十%以上出席した方へ記念品を贈呈するものです。会長・副会長・特別顧問には、褒章の対象からご辞退を頂いております。平成三十年は六名の方々にご来賓を進呈致しました。ご来賓の竹原会長に乾杯のご発声頂き歓談に入りました。経過をみながら歓談中に二つの事をご披露致しました。一つ目は、平成三十年は改選期で、先程の総会で承認されました総務部会・組織厚生部会・研修事業部会・広報部会

の四部会の新部長にひと言抱負を伺いました。二つ目は、平成三十年度に入会された一名の方をご紹介しました後は余興に入りました。

クラシックギターリスト鹿野誠一様をお招きいたしました。心にやさしいギターの音色、懐かしいクラシック音楽を聞きながら色々な事が思い出され、心豊かな素晴らしいひと時でした。

楽しい時間の過ぎるのは早く閉会の刻になりました。総務部会の越智副会長の閉会の挨拶で、平成三十年の定時総会・懇親会を滞りなく終らせて頂きました。

ご来賓の方々・事務局の方々・会員の皆様に感謝を申し上げます。



全国商工会議所女性会連合会

創立50周年記念式典・第50回岩手総会

2018年10月3日(水)～5日(金)

副会長 泉 みち子



全国商工会議所女性会連合会創立五十年記念式典・第五十回岩手総会が盛岡市で全国の女性会から一、四〇〇名を越える皆様をお迎えして盛大に開催されました。当会からは八木会長、野村副会長、泉副会長、事務局の井浦さんとの四名で参加いたしました。

当日は大船渡商工会議所女性会による太鼓演奏に迎えられ、オープニングセレモニーの遠野昔話語り部の会 菊池玉様による「ザシキワラシ」の朗読の後、式典・総会が始まりました。

式典の中では、岩手宣言「平和で心豊かな社会に向けて、女性会が未来の架け橋に」と題し、四つの活動取り組みが宣言され、次回の鹿児島全国大会開催地へ連合会旗が引き渡され閉会となりました。

記念講演会は株式会社モスフードサービス 代表取締役会長 櫻田厚様より「職を通して人を幸せにするモスバーガーの理念経営」と題して講演をお聴きしました。

経営理念とは「始めにこそありき」人間貢献・社会貢献 感謝される仕事をしよう！

常に戦略と戦術の上位概念として捉える実践のお話であり、すべての企業経営にも通ずることと感ずりました。

商品戦略として「アフターオーダー

システム、日本の食文化（発酵文化）出汁、医食同源という考え方を掲げておられました。創業者 櫻田慧氏の「おいしいハンバーガーを日本の方々へ」の想いが今も後継されていることにも感動いたしました。

懇親会は岩手県立北上翔南高等学校生による「鬼剣舞」で迎えていただきました。

乾杯には収穫し搾りたての「盛岡りんご」ジュースが用意され、そしてテーブル上にもりんごが飾られて、お帰りの際は一個ずつお持ちくださいませとメッセージがあり、新渡戸稲造氏が愛したお料理をご用意くださいました。「盛岡さんさ踊り」でフィナーレをむかえ閉会となりました。

四日、小岩井農場・いわての手仕事と先人を知るエキスカイションに参加いたしました。晴天に恵まれ「小岩井農場」や「盛岡手づくり村」等を巡り歴史と文化遺産に触れさせていただき大変有意義なひとときを過ごすことができました。

総会テーマ『つなげたい笑顔のかけはし』が随所に感じられる総会とエキスカイションでございました。



第32回 全道商工会議所女性会研修交流会 (旭川)

2018年10月12日(金) 総務部会 副部長 青野 真澄



平成三十年十月十二日(金)ア
ートホテル旭川に於いて、第三十
二回全道商工会議所女性会研修交
流会が開催されました。今回は
旭川、富良野、稚内の道北プロッ
ク女性会の皆様が担当し、一八五
名の出席で開催されました。

札幌からは事務局二名を含む二
十八名が北海道経済センターを九
時三十分に出発致しました。道中
は笑いが絶えない和やかな時間を
過ごし、十二時には旭川の雪の
美術館に到着、昼食に松花堂弁当
を頂き、お土産のお買い物を楽し
んだ後アートホテル旭川に向いま
した。

十五時開会の研修交流会では北
海道商工会議所女性会連合会 八
木千代子会長より開会のご挨拶に
続き、胆振東部地震で被害を受け
た皆様へ哀悼の言葉が述べられま
した。

永年活動の表彰に続き、旭川女性
会 勝山孝恵会長より全道各地から
の参加の方々へ「旭川の食と街を
楽しんでください」とのお礼のご
挨拶があり、また旭川女性会 廣
岡理事、根室女性会新濱会長より
スライドなどで昨年の活動報告が
ありました。

記念講演では「泣いて笑ってハ
ラへற்று生きることは食べるこ
と」と題してTEAMNACS

森崎博之様を講師にお迎えしまし
た。「めぐり王国」などのTV番
組に出演、北海道の農業応援団長
として活動しているパワフルなお
話があり、さすがに人気タレント
でいらっしゃる森崎さんの話術は
一瞬で会場全体を盛り上げ、とて
も楽しい内容でした。

懇親会では「YOSAKOIソ
ーラン波navi」の皆さんが日
頃の練習の成果を発揮する元気な
演舞を披露し、津軽三味線の菅野
優斗さんの迫力ある演奏を楽しみ
ながらの美味しいお食事と普段お
会いけない他の女性会の皆様と
の楽しい会話で、とても有意義な
時間を過ごすことができました。

閉会后、札幌への帰路につきま
したが皆様お疲れの様子もなく無
事二十二時
前には到着
いたしましたし
た。

日帰り
とハードな
スケジュー
ルでしたが
、皆様にご
参加とご協
力頂きました
事を心より
感謝申し上
げます。



平成31年 新年交礼会

2019年1月30日(水)

組織厚生部会 原林 滋子



穏やかな晴天に恵まれた平成三十一年一月三十日。札幌商工会議所女性会の新年交礼会が催されました。

昨年末に会の一員に加えていただいた私にとって初めての大きなイベント……緊張のあまり、会場到着は集合時間の三十分前。

ご参加の皆さまを入口でお迎えし、いよいよ開会。商工会議所女性会の歌は服部良一氏の作曲と知って驚きました。初めて目にしたスローガンには「女性ならではの優雅さとやさしさと知性……」まだまだ修行が必要です。

続いて新年にふさわしい「宝船」の祝吟。増田秀蘭様の豊かな声量、深みと艶のあるお声に皆さま聴きほれている様子でした。

その余韻の中、ご挨拶に立たれた八木会長は昨年の地震の折、全国各地の女性会から応援のメッセージをいただいたことに触れました。困ったときこそ互いに気遣い手を差し伸べ合う、全国にそんなネットワークがあるのほんんと心強いことでしょう。

続いてご来賓の紹介があり、ご祝辞を頂きました。秋元札幌市長からは亥年にちなみ、「猪突猛進と行かないまでも『ちよつとずつ猛進』とユーモアあふれるお話が、お人柄が感じられる一コマでした。

そして岩田会頭による乾杯のご発声に続き会食・歓談の時間。賑やかにお話が弾む中、新入会員四名は各テーブルにご挨拶に伺いました。どこでも優しく温かいお声をかけていただき、緊張もほぐれました。ありがとうございました。

会も終盤、余興は音楽ユニット「Blare」によるトランペット四重奏。途中で手拍子も起こり、演奏者と会場が一体となった素敵な時間でした。

最後に野村り子副会長の「組織厚生部会の役割は一人でも多くお仲間をふやし、会の結束を強めていくこと」とのお言葉を改めて心に刻み、和やかな雰囲気の中、会はおひらきとなりました。

初めての新年交礼会、皆さまに喜んでいただけるよう入念な打合せとリハーサルを重ねられる諸先輩の姿に、この会に対する想いと責任感を感じました。これからも多くのものを学ばせていただきたいと存じます。

最後に今年が皆さまにとって、さらに輝く一年となりますようお祈り申し上げます。



全道商工会議所女性会連合会

道央ブロック商工会議所女性会研修会

2018年10月30日(火) 研修事業部会 幡 優子



平成三十年十月三十日(火)、石狩市にて道央ブロック商工会議所女性会研修会が開催されました。札幌、小樽、江別、千歳、恵庭、石狩から約五十名の会員が参加しておりました。

ご講演は、この春オープンした「道の駅いしかりあいろーど厚田」の運営会社、株式会社 あい風の代表取締役 吉田和彦氏のお話でした。

吉田社長の経歴はANA時代から北海道に愛着を持ちAIRDOの立て直し、新幹線が来るのに合わせて八雲にアンテナショップの立ち上げと、行く所行く所で成功を収める神様のようなお方です。

「道の駅いしかり あいろーど厚田」は、道内百二十番目の道の駅で『重点道の駅』とされ地方創世の拠点として期待されています。

「あいろーど」は、三つの市町村が合併して出来た「i」が三つあるみち、北から吹く風は愛を運んでくるからと、「あい風」と一つ一つに思い入れと愛を感じます。

吉田社長は、とことん地元にとだわり、地元の自慢できる物や、農産物、海産物に付加価値をつけて売るからこそ、地元の農家さんや漁師さんが潤い地方創世へと導くと話されました。

厚田の人は「近説遠来」をキャ



ッチコピーに、地元を喜ばれ、訪れた人にも喜んでもらえるような場を目指し、「ありがとう」を一杯もらえるよう、「働く2端(はた)楽(らく)」をモットーに道の駅を運営していくというお話に、とても感動致しました。

是非、地方創世のお手本となつて欲しいと期待しております。

「地元の人は気づかない魅力」が、北海道には沢山眠っている事を知りました。

辛坊治郎氏 特別講演会

2018年11月14日(水) 研修事業部会 部会長 犬嶋 ユカリ



平成三十年十一月十四日(水) 札幌グランドホテル二階グランドホールに於きまして、辛坊治郎氏をお迎えし「どうなる日本!?」政治経済の明日を読み解く」と題しまして特別講演会を開催いたしました。

札幌女性会では、年に一度地域に貢献することを目的に、著名な方をお招きし、特別講演会を実施しております。

辛坊氏は皆様ご存じの通り、アウンサーやキャスターとして「そこまで言って委員会NP」や「ウェークアップ!ふらす」等数々のメディアでご活躍され、著書も「日本経済の真実」「この国で起きている本当のこと」など多数の著書が出版されています。

十一月開催ということでお足元の悪い中、老若男女、約七〇〇名の皆様に会場にお出でいただきました。

辛坊氏のご経験のヨットでの遭難事故につきまして、十一時間の漂流の末に、船長の判断によって着水されたこと、その後奇跡の生還として美談のように報じられましたが、その時の多くの報道に大変な思いをされたことを、明るく話されている中で「自己責任」と「伝える」だけに留まらず、ジャーナリストとしての精度の高い調査

力、鋭い分析力で見極めた価値ある情報をご講演いただきました。

報道の裏側で情報の取り方見方など報道に長く携われてこられたからこそ、のりしるに余裕と感謝の気持ちを持って臨まれ、日本の未来を読み解いていただきました。胆振東部地震から二ヶ月後の開催でしたが、笑いの絶えない元気の皆様をいただけるお話で、来場者の皆様の笑顔を見ておりますと、辛坊氏への感謝の気持ちでいっぱいとなりました。

最後になりますが、事務局、八木会長はじめ各部会、女性会すべての皆様のお蔭をもちまして、辛坊治郎氏の特別講演会を盛会に終了することが出来ました。

研修事業部会会員一同、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



7月例会

研修事業部会 佐藤 千和子

テーマ/知っておきたい相続対策の勘どころ

講師/プルデンシャル生命保険(株)
東京第一支社
ライフプランナー 谷本 考氏

日程/2018年7月20日(金)

場所/北海道経済センター

参加者/27名



色々なお話が
ありました。
中でも心に
残ったのは、
親が旅立った
あと、子供達
が仲たがいの
事のないよ
う、多くても
少なくても残
した物をどの

○相続財産を圧縮する
資産の評価減に生前贈与を計画的にすることが大切との事。

「知っておきたい相続対策の勘どころ」と題して、プルデンシャル生命保険株式会社 東京第一支社の谷本 考氏を講師に迎え、お話を伺いました。
大学時代落研にいらしたというだけあって、お話は軽妙で興味深いものでした。
平成二十七年以降大幅に相続税が上がった事。相続税ってどの位払うの？老後が心配、認知症や介護状態になったら？等々、話はずきません。
相続財産の評価額を少しでも抑えるために
○相続税の優遇税制のメリットを徹底的に活用する
特に生前贈与、生命保険、不動産はメリットが大きいそうです。
○相続財産を圧縮する
資産の評価減に生前贈与を計画的にすることが大切との事。

「知っておきたい相続対策の勘どころ」と題して、プルデンシャル生命保険株式会社 東京第一支社の谷本 考氏を講師に迎え、お話を伺いました。
大学時代落研にいらしたというだけあって、お話は軽妙で興味深いものでした。
平成二十七年以降大幅に相続税が上がった事。相続税ってどの位払うの？老後が心配、認知症や介護状態になったら？等々、話はずきません。
相続財産の評価額を少しでも抑えるために
○相続税の優遇税制のメリットを徹底的に活用する
特に生前贈与、生命保険、不動産はメリットが大きいそうです。
○相続財産を圧縮する
資産の評価減に生前贈与を計画的にすることが大切との事。



ように分けて使ってもらいたいかを生前から書きとめておくことが大事とのことでした。
最近よく耳にするエンディングノートですね！
まだ元気な内に、ライフプランナーさんの知恵を借りると物事の整理がしやすいかもしれません。

納涼例会

研修事業部会 阿部 さおり

内 容／交流・親睦・津軽三味線演奏

日 程／2018年8月6日(月)

場 所／札幌第一ホテル

参加者／39名



二〇一八年八月六日 月曜日、例年よりもやや気温が高い夏日の一日。札幌商工会議所女性会主催による恒例「納涼例会」が開かれました。場所はこちらも恒例の札幌第一ホテル。

担当である研修事業部会メンバーは、多くが浴衣を纏い、晩夏の暑さを涼で彩る装いで会員各位をお迎えいたしました。

八木会長のご挨拶に加え各部会からの事業報告を行った後、乾杯へ。

お料理は試食を重ねた逸品が提供され、昨年に比べてボリュームよりも質が上がったとの嬉しいお声も飛び交いました。

その後、乾杯の余韻に続いてこの日のメインゲストがステージへ登壇。

北海道を代表する若手ホープの



「津軽三味線奏者 忍弥(NIYA A)」が心に響く、熱くアグレッシブな演奏をご披露くださり、会場は華やかに盛り上がりました。

終始笑顔が溢れる和やかな空気に包まれる中、納涼例会はあっという間に終焉へ。

お一人お一人の晴れやかなお顔と「楽しかった!」との感想をいただく中、研修部会一同は皆さまをお見送りいたしました。

このたびの納涼例会におきまして、たくさんの方の皆さまのご参加をいただきました誠にありがとうございました。

2月例会

研修事業部会 副部会長 加藤 佳良子

テーマ／私の経営理念

講師／池田食品(株)
代表取締役 池田 光司氏

日程／2019年2月27日(水)

場所／北海道経済センター

参加者／49名



現場主義は時代が変わっても大切にしなければならぬものであることを改めて心に刻みました。細やかな改善とは裏腹にグローバルな視野も持ちであり、お話しは世界を知ること知財の流出への懸念、国力の増大にまで及び経営者としての気構えが熱く伝わった講演でした。

池田氏は会社の歴史を事細やかに分析し日々見直すことを常とされており、更には平成二十八年全ての公職を辞し現場復帰されたそうです。どんな経営者でも現場に入らないとわからないことが多く、現場復帰後は様々な気付きをもとに改善に取り組みまれているとのことでした。

「私の経営理念」をテーマに『北海道札幌市の工場を毎日、おいしいおやつをつくってます』池田食品株式会社の池田社長にご講演いただきました。創業四十周年を迎えた池田食品ですが、三度の大きな赤字経営危機を乗り越えられて今があるとお話しされました。



そして最後に女性性をもっと矢面に立ち地域社会、ひいては日本を牽引することを期待しているとお言葉を頂戴し、会員、ゲスト一同身の引き締まるおもいでした。今回は、女性会会員をはじめ多数のゲスト聴講の方もご参加頂きましたこと、研修事業部会一同感謝申し上げます。

札幌商工会議所女性会 組織図

【役員構成】



【部会構成】



札幌商工会議所女性会

(H31.3.31 現在)

【業種別人員構成】

(日本標準産業分類 平成 25 年 10 月改定より)

1. 建設業	8 名	8. 学術研究・専門技術サービス業	9 名
2. 製造業	5 名	9. 宿泊業・飲食サービス業	3 名
3. 情報通信業	2 名	10. 生活関連サービス業・娯楽業	4 名
4. 運輸業	1 名	11. 教育・学習支援業	5 名
5. 卸売業・小売業	18 名	12. 医療・福祉	4 名
6. 金融業・保険業	1 名	13. サービス業	11 名
7. 不動産業・物品賃貸業	7 名		総員 78 名

【在籍年数別人員構成】

在籍 40 年以上	5 名	在籍 10 年以上 20 年未満	14 名
30 年以上 40 年未満	12 名	10 年未満	40 名
20 年以上 30 年未満	7 名		総員 78 名

物故会員を偲ぶ

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます



清田 絹枝さん
(株)清和インターナショナル
平成31年2月7日没
(享年80歳)
入会年 昭和54年

昭和五十四年入会後、理事、常任理事、代表常任理事、副会長等を歴任し、平成二十八年より名誉会員として多大な貢献をされました。生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



笠松 紀美子さん
北海道毎日輸送(株)
平成31年3月12日没
(享年81歳)
入会年 平成4年

平成四年入会後、監事、理事、常任理事を経て、平成三十年からは相談役として多大な貢献をされました。生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

札幌商工会議所女性会 役員体制

【平成30年度役員体制】

会 長	八木 千代子		
副 会 長	成田 得見子 野村 るり子	泉 みち子	きくち美由紀
特 別 顧 問	高木 雅子	池上 喜重子	
参 与	松村 智恵子 野田 節子	高橋 眸 佐藤 和子	嶋津 紀子
相 談 役	小林 千江子 清水 武子	米澤 美子 笠松 紀美子	桑原 嘉子
代表常任理事	中村 法子		
常 任 理 事	越智 けい子	小西 利枝	
理 事	桑田 洋子 原田 順子 藤村 久美子 犬嶋 ユカリ	吉中 朋子 太田 陽子 塚原 孝子	木下 直美 柏原 克子 八田 利枝子
監 事	青野 真澄	佐野 志賀子	
名 誉 会 員	大室 スミ 野田 愛子 佐藤 カヨ子	佐野 セツ 清田 絹枝	内山 栄子 須貝 淑子

(役員20名、特別顧問・参与・相談役12名、名誉会員7名)

札幌商工会議所女性会 スローガン

わたくしたちは

女性ならではの優雅さと

やさしさと

知性をささえに

政治・経済知識の習得と

女性経営者としての資質向上をめざし

また

国際人としての素養を身につけ

視野をひろげていくために

心と手を結びあって歩んでまいります

「商輪」(SHORIN)とは

「商いの輪」の事です。

私どもの広報活動が皆さんの商いの

潤滑油になっていただければと、

ここに商工会議所女性会の

スローガンを記載致しました。

皆さまの商いに素敵な「輪」が

広がりますようお願いを込めて…。

平成30年度 年間スケジュール

4月	<p>平成30年度定時総会・懇親会</p> <p>日 時 平成30年4月24日(火) 定時総会/17時～18時 懇親会/18時15分～19時45分</p> <p>場 所 札幌パークホテル 3階 エメラルド</p> <p>参加者 53名</p>	10月	<p>道央ブロック商工会議所女性会研修会(石狩)</p> <p>日 時 平成30年10月30日(火) 10時～18時</p> <p>場 所 石狩市民プール</p> <p>講演会 講 師:(株)あい風 代表取締役 吉田 和彦 氏 テーマ:道の駅石狩 あいろーど厚田について</p> <p>参加者 57名(札幌26名)</p>
7月	<p>7月例会</p> <p>日 時 平成30年7月20日(金) 13時30分～14時30分</p> <p>場 所 北海道経済センター 7階 第5会議室</p> <p>講 師 プルデンシャル生命保険(株) 東京第一支社 ライフプランナー 谷本 考 氏</p> <p>テーマ 知っておきたい相続対策の勘どころ</p> <p>参加者 27名</p>	11月	<p>特別講演会</p> <p>日 時 平成30年11月14日(水) 13時30分～15時</p> <p>場 所 札幌グランドホテル 2階 グランドホール</p> <p>講 師 辛坊 治郎 氏</p> <p>テーマ どうなる日本!? ～政治経済の明日を読み解く～</p> <p>来場者 約700名</p>
8月	<p>納涼例会</p> <p>日 時 平成30年8月6日(月) 18時～20時</p> <p>場 所 札幌第一ホテル</p> <p>内 容 交流・親睦・津軽三味線演奏</p> <p>参加者 39名</p>	1月	<p>平成31年 新年交礼会</p> <p>日 時 平成31年1月30日(水) 17時～19時</p> <p>場 所 札幌パークホテル 3階 パークホール</p> <p>参加者 64名</p>
10月	<p>全国商工会議所女性会連合会 創立50周年式典・第50回岩手総会</p> <p>日 程 平成30年10月3日(水)～5日(金)</p> <p>場 所 盛岡市民文化ホール大ホール</p> <p>講演会 講 師:(株)モスフードサービス 代表取締役会長 櫻田 厚 氏 テーマ:食を通じて人を幸せにする モスバーガーの経営理念</p> <p>参加者 1,451名(札幌4名)</p> <p>第32回 全道商工会議所女性会 研修交流会(旭川)</p> <p>日 時 平成30年10月12日(金) 15時～17時</p> <p>場 所 アートホテル旭川</p> <p>講演会 講 師:TEAM NACS 森崎 博之 氏 テーマ:泣いて笑ってハラへって ～生きることは食べること～</p> <p>参加者 185名(札幌28名)</p>	2月	<p>2月例会</p> <p>日 時 平成31年2月27日(水) 14時～15時</p> <p>場 所 北海道経済センター 8階 Bホール</p> <p>講 師 池田食品(株) 代表取締役 池田 光司 氏</p> <p>テーマ 私の経営理念</p> <p>参加者 49名</p>



平成、最後の発刊となりました「商輪三十九号」。

沢山の事が、心に刻まれた年でもありました。

「北海道命名百五十年」と云う大きな節目の年！

悲しみがいえぬ、大震災に見舞われた年！そうした中、広報部会メンバーは何をどう取り上げるべきか等、話し合いを重ねながら制作に当たらせていただきました。

試行錯誤の末、何とか無事完成を迎えさせていただきました。これもひとえに、会員の皆様の多大なるご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。私達広報部会は、全員参加のもと一丸となって取り組み、沢山の事を学び多くのものを得た事を、大変嬉しく思います。

また、至らぬ私達の為に、ご指導、ご協力を賜りました事務局の皆様にも心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

新入会員の方々も増え、八木会長のもと、この輪がさらに大きく輝きながら広がっていきます事を願いながら、次期「商輪」の発行に向けて再び力を合わせて取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

広報部会員一同

広報部会

担当相談役	清水 武子
担当副会長	笠松紀美子
担当部長	成田得見子
担当副部長	塚原 孝子
担当副部長	八田利枝子
部 会 員	堀田 まり
	増田 節子
	須山 静子
	岡部 文子
	寺島 久美
	山木さとみ
	平山 陽子
	川端 法子
	油矢紗也香
	澤谷奈津子
	浅井 理江

※尚、校正面などにおきまして
不手際な点が多々あるうかと存じますが
何卒ご容赦ください。



札幌商工会議所女性会「商 輪」第39号

発行：札幌商工会議所女性会 〒060-8610 札幌市中央区北1西2丁目 TEL：011-231-1374
発行日／平成31年4月22日 印刷／株式会社 スタジオ・コムサ 発行責任者／八木千代子